



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 吉田 智哉

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日

平成27年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,111	8.5	777	24.6	726	22.7	307	30.0
27年3月期第2四半期	8,395	9.8	624	△15.4	591	△15.3	236	△19.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 440百万円 (17.5%) 27年3月期第2四半期 375百万円 (△10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	11.89	—
27年3月期第2四半期	9.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	21,286	6,751	25.0	205.70
27年3月期	20,288	6,349	25.1	196.70

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,322百万円 27年3月期 5,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	1.30	—	1.50	2.80
28年3月期	—	1.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,889	5.0	1,734	8.7	1,660	8.5	703	13.0	27.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	28,150,000 株	27年3月期	28,150,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,273,100 株	27年3月期	2,273,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	25,876,900 株	27年3月期2Q	25,876,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策、財政政策を背景に企業収益の向上や雇用情勢の改善等が見られ、景気の緩やかな回復の兆しがあるものの、中国をはじめとする海外経済の減速リスクの影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高9,111百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益777百万円(前年同期比24.6%増)、経常利益726百万円(前年同期比22.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益307百万円(前年同期比30.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、円安の進行等により中古車輸出に注目が集まり業者数が増加し競争が激化しておりますが、一部地域では現地通貨安による買い控えが発生しており、当第2四半期連結累計期間における輸出台数は63.5万台(前年同期比3.5%減)となりました。

このような状況で、当社グループのメイン販売先であるアフリカ地域において、現地通貨安等による一時的な需要減少が発生し、当社グループの輸出台数は3,611台(前年同期比19.9%減)となったものの、高額車両を取扱う現地販売業者との取引強化により高額車両の販売台数が増加し、販売単価は上昇いたしました。また、円安の影響等により、低価格車両の収益性が向上し、売上、利益ともに前年同期を上回りました。また、アフリカ地域においてカスタマーサポートセンターでの対面販売やアフターサービスを強化し、その他地域においても現地販売エージェントとの提携を推進することにより、現地における販売網の拡大及び顧客満足度の向上を図ることができました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,877百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益200百万円(前年同期比69.2%増)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・F Cの空白地域への新規出店を推進し、様々な施策により新規出店店舗の早期黒字化を目指しております。また、TVCMの継続的な放映、顧客満足度向上策の実施、好立地への移転等により個人顧客への販売強化に注力いたしました。当期において直営店の飯田店(長野県)、鈴鹿店(三重県)、F C店の高知店(高知県)、平泉店(岩手県)、高槻店(大阪府)を新規出店しましたが、店舗統合等による減少もあり、直営店及びF C店の総店舗数は122店、総保有台数は13,393台(前年同期比6.6%増)となりました。さらに、レンタル終了車両の販売台数は744台(前年同期比1.5%増)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,682百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益549百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国の自動車業界においては、ランド安による小売価格の上昇、電力供給の制約等により経済が低迷し、平成27年1-6月期の新車販売台数は30.2万台(前年同期比1.9%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で自動車ディーラーを運営しており、8月には、フランスの自動車メーカーであるシトロエンの取り扱いを開始し、プジョー・シトロエンディーラー1店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗となっております。また、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、継続的に中古車・サービス部門で経営改善を行い、収益力向上に取り組んでおりますが、経済状況の低迷により、新車販売台数は合計363台(前年同期比13.8%減、内訳：プジョー・シトロエン32台(6.7%増)、フィアット・アルファロメオ12台(14.3%減)、スズキ319台(15.4%減))、中古車販売台数は合計696台(前年同期比3.3%増)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,701百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益22百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、11,756百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が142百万円、商品及び製品が285百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、9,529百万円となりました。これは土地が198百万円、リース資産(純額)が118百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、21,286百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、11,759百万円となりました。これはリース債務が174百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、2,774百万円となりました。これはリース債務が81百万円増加したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、6,751百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、707百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,887百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益726百万円、減価償却費1,199百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は425百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出415百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,568百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,363百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、引き続き既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成27年5月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,962	707,874
受取手形及び売掛金	1,067,701	1,194,831
リース債権及びリース投資資産	6,289,561	6,431,750
商品及び製品	1,945,976	2,231,330
仕掛品	1,940	2,042
原材料及び貯蔵品	13,410	15,399
その他	957,289	1,178,269
貸倒引当金	△4,666	△5,025
流動資産合計	11,086,175	11,756,472
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	4,509,096	4,627,350
土地	2,957,671	3,156,081
その他(純額)	1,035,018	1,076,670
有形固定資産合計	8,501,786	8,860,101
無形固定資産		
のれん	108,731	101,631
その他	84,302	77,249
無形固定資産合計	193,034	178,880
投資その他の資産		
その他	523,378	508,879
貸倒引当金	△16,005	△18,147
投資その他の資産合計	507,373	490,731
固定資産合計	9,202,194	9,529,714
資産合計	20,288,370	21,286,186
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,986	544,521
短期借入金	910,000	750,000
1年内償還予定の社債	16,000	9,000
リース債務	8,417,686	8,591,906
未払法人税等	299,188	248,557
賞与引当金	74,703	72,585
その他	876,258	1,543,237
流動負債合計	11,238,822	11,759,808
固定負債		
リース債務	2,614,701	2,696,535
役員退職慰労引当金	26,740	28,204
資産除去債務	18,061	16,864
その他	40,779	33,364
固定負債合計	2,700,282	2,774,969
負債合計	13,939,104	14,534,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	3,170,282	3,439,160
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	5,075,873	5,344,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,567	11,328
為替換算調整勘定	△8,294	△33,171
その他の包括利益累計額合計	14,273	△21,842
非支配株主持分	1,259,119	1,428,500
純資産合計	6,349,265	6,751,408
負債純資産合計	20,288,370	21,286,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,395,196	9,111,277
売上原価	6,236,564	6,754,339
売上総利益	2,158,632	2,356,938
販売費及び一般管理費	1,534,363	1,579,259
営業利益	624,268	777,679
営業外収益		
受取利息	6,227	5,810
受取配当金	7,744	6,230
投資有価証券償還益	4,151	2,444
その他	4,786	3,655
営業外収益合計	22,910	18,140
営業外費用		
支払利息	47,166	47,948
為替差損	3,377	20,890
その他	4,832	912
営業外費用合計	55,377	69,751
経常利益	591,801	726,068
特別利益		
投資有価証券売却益	269	424
特別利益合計	269	424
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	1,224	394
特別損失合計	1,231	394
税金等調整前四半期純利益	590,838	726,098
法人税、住民税及び事業税	200,699	243,653
法人税等調整額	14,994	5,103
法人税等合計	215,693	248,757
四半期純利益	375,145	477,341
非支配株主に帰属する四半期純利益	138,385	169,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,759	307,693

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	375,145	477,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	510	△11,505
為替換算調整勘定	△522	△24,876
その他の包括利益合計	△11	△36,382
四半期包括利益	375,133	440,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,695	271,577
非支配株主に係る四半期包括利益	138,438	169,381

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	590,838	726,098
減価償却費	1,125,325	1,199,060
のれん償却額	3,431	3,435
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68	3,610
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,947	△2,117
受取利息及び受取配当金	△13,971	△12,041
支払利息	47,166	47,948
為替差損益 (△は益)	△11	1,629
固定資産売却損益 (△は益)	7	—
固定資産除却損	1,224	394
投資有価証券売却損益 (△は益)	△269	△424
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,155	△139,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△183,329	△98,865
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,575	△40,666
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△95,318	60,940
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	65,535	△337,177
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	330,897	811,462
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,656	2
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△8,628	△4,740
その他	1,764	1,632
小計	1,879,861	2,220,949
利息及び配当金の受取額	13,976	12,061
利息の支払額	△46,799	△48,004
法人税等の支払額	△340,223	△297,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,506,815	1,887,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△282,466	△415,337
無形固定資産の取得による支出	△9,507	△11,807
投資有価証券の売却による収入	561	559
貸付けによる支出	△6,583	△704
貸付金の回収による収入	15,222	4,236
敷金及び保証金の差入による支出	△10,197	△8,287
敷金及び保証金の回収による収入	4,633	13,201
その他	△4,000	△7,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292,339	△425,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	220,000	△160,000
長期借入金の返済による支出	△114,592	—
社債の償還による支出	△15,000	△7,000
リース債務の返済による支出	△1,252,405	△1,363,003
配当金の支払額	△36,259	△38,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198,256	△1,568,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	224	△422
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,443	△107,088
現金及び現金同等物の期首残高	675,099	814,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	691,542	707,874

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,455,854	3,210,017	1,729,324	8,395,196	—	8,395,196
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,093	172,215	—	174,309	△174,309	—
計	3,457,948	3,382,232	1,729,324	8,569,505	△174,309	8,395,196
セグメント利益	118,282	485,484	29,680	633,447	△9,179	624,268

(注) 1. セグメント利益の調整額△9,179千円には、のれん償却額△3,431千円、棚卸資産の調整額△6,213千円、その他の調整額465千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,874,465	3,535,420	1,701,391	9,111,277	—	9,111,277
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,710	147,392	—	150,102	△150,102	—
計	3,877,175	3,682,813	1,701,391	9,261,380	△150,102	9,111,277
セグメント利益	200,161	549,080	22,147	771,388	6,291	777,679

(注) 1. セグメント利益の調整額6,291千円には、のれん償却額△3,435千円、棚卸資産の調整額8,496千円、セグメント間取引1,229千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。